

9月 行事予定



日	月	火	水	木	金	土
		熱中症予防のために、こまめに水分補給をしましょう			1	2
3	4 休館日	5	6	7 文化祭実行委員会 19時30分～	8	9
10 人権を考える日	11 休館日	12	13 ほかから人生大学 「落語」14時～	14	15	16
17	18 休館日 敬老の日	19 振替休館日	20 ガラスびん等 放課後子ども教室 「押し花」	21	22	23 休館日 秋分の日
24	25 休館日	26	27 古紙 国ちゃんカフェ 10時～	28 なごやか料理教室 9時30分～	29	30

令和5年度国安地区ふれあい文化祭について

ふれあい文化祭実行委員会役員会が、8月3日(木)に開催され、今年度の文化祭について話し合いがもたれました。

今年度の文化祭は、11月11日(土)・12日(日)に開催することになりました。「作品展示」「芸能発表」については、実施することになりました。

文化祭の内容(詳細)につきましては、今後の実行委員会で協議する予定です。

展示作品の募集等の開催内容については、公民館だより10月号でお知らせしますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



心のオアシスコーナー

「一隅を照らす」

8月の暑い朝、公民館に出勤すると、一輪の白百合の花が咲いていました。

玄関横のアスファルトの小さい隙間から茎をのばして、咲いていました。

公民館玄関が、ほのかに明るく輝いて見えました。

「一隅を照らす」

与えられた環境の中で努力し、まわりを照らしていくことの大切を教えてくれているように感じました。

ありがとう、一輪の白い百合の花。

懸命

谷間の
白百合の花は
だれにも
見てもらえないのですが
少しのかけひきもなく
精いっぱい
いのちいっぱいの
美しさで
懸命に咲いています。

相田 みつを



国安俳句会 学級生作品(八月旬会)

大輪の枝垂れて消えり遠花火
まなびや ぶんすいたか ほり
学舎は噴水高き堀の内
にんげん そんげん と
人間の尊厳を問ふ原爆忌
せいしゆん なみだ きおくはいせんき
青春の涙の記憶敗戦忌
ぐんぼう わか はちがつじゅうごにち
軍帽は若し八月十五日
しんかんしよやく なつや

菅生 正恵
近藤 憲史
岸田千寿子
越智 椿
越智 綾子
吉田百合子

2023年(令和5年)9月号

西条市のホームページや右のQRコードより
公民館だよりのカラー版もご覧ください



No.371

公民館
だより

くにやす 9月

国安地区 7月末現在	前月対比
男 1,708人	(-2)
女 1,933人	(-10)
計 3,641人	(-12)
世帯数 1,803戸	(-7)

〒799-1323 西条市桑村127番地1
電話・FAX: 0898-66-5028
E-mail: kuniyasu-k@saijo-city.jp



夏休み! チャイルドサマースクール 開催

小学生の子どもたちがいろいろなことにチャレンジしました。台風の影響で延期になった教室もありましたが、参加した子どもたちから「楽しかった!」「いろいろやってみてみたい」と感想がありました。

7/27(木) 多肉植物寄せ植え

多肉植物の種類がたくさんあり、どこに植えるか考えながら丁寧に植えていました。大事に育ててください。



8/2(水) 夏のお話会&笹飾り、おもちゃを作ろう

七夕笹飾りや、かわり絵おもちゃを作りました。珍しい飾りを教えてもらい笹に飾っていました。



8/4(金) 出前エネルギー講座 「電気について 考えてみよう」

四国電力愛媛支店の方より発電の仕組みを教わりました。偏光万華鏡も作りました。不思議がたくさんありました。



自転車をこいで発電できたよ!

令和5年度敬老のお祝いのお知らせ

長年にわたり地域に貢献された皆様のご長寿をお祝い申し上げます。
今年度は、国安地区連合自治会より記念品をお届けいたします。
対象の方へ9月中旬より、記念品と挨拶状をお渡しに参ります。

- 対象者…75歳以上（昭和23年12月31日以前にお生まれになった方）
※米寿の方へは、市よりお祝い（記念品）が届けられます。



国安地区連合自治会

令和5年度国安地区人権・同和教育学習会のご案内

人権が尊重される明るい住みよいまちづくりを実現するため、学習会を開催します。
皆様のご参加をお願いします。

- 開催日：10月10日（火）午後7時～午後8時15分
会場：国安小学校体育館
講師：国際理解コーディネーター 中矢 匡 先生
演題：「地球の上に生きる —80カ国で出会った人々—」



国安公民館 にこにこブック

新刊 はいりました

- ☺ ようこそわが家へ 池井戸 潤
☺ 老害の人 内館 牧子
☺ 名探偵のままでいて 小西マサテル
☺ 81歳の家電売り場店員・接客は天職です。 熊谷 恵美子

- ☺ 師匠はつらいよ 藤井聡太のいる日常 杉本 昌隆
☺ インド式簡単計算法 水野 純
☺ 明日、いいことが起きる 眠る前の自分への質問 臼井 友紀



美術館が10倍楽しくなる講座 開催

〈第1回講座〉令和5年10月1日（日）9:30～11:50(受付9:00～)

- ①講演「現代美術にワクワクドキドキ ときめきをアートに」
京都芸術大学名誉教授 鈴鹿芳康 氏

- ② Make Lemonade Out Of Lemons 朗読コンサート

〈第2回講座〉令和5年10月29日（日）9:30～11:50(受付9:00～)

- ①まかな瑠音 ライアー（ドイツ発祥の堅琴）コンサート

- ② 講演 「西洋美術にワクワクドキドキ ルノワール、ローランサンからムーミンまで」
愛媛県美術館学芸員 武田信孝 氏

主催 西条市佐伯記念館・郷土資料館 西条市丹原公民館

会場 西条市丹原公民館ホール

定員 先着100名（参加無料）

参加申込 各公民館設置の受講申込書を西条市佐伯記念館・郷土資料館までご提出いただくか、お電話・ファックスでお申込みください。

西条市佐伯記念館・郷土資料館

〒791-0508 西条市丹原町池田1711-1 TEL・FAX (0898) 68-4610

申込期限 令和5年9月21日（木）



9月1日は防災の日

大正12年（1923年）に発生した関東大震災から今年が100年の節目となります。
いざというときに落ち着いて行動できるよう心構えが大切です。ご家庭の非常持ち出し袋や保存食なども、この機会に再確認してみてください。

非常時の持ち物 チェックしましょう。

夜間時の避難を前提に足元を照らす「懐中電灯」をはじめとして、「替えの下着」なども必要となります。
過去の避難の教訓から、緊急避難でない場合は、「1食分程度の食事」を自分で用意する心がけが必要です。

- | | | | | |
|---|--|--|---|--|
| 食料品
<input type="checkbox"/> 飲料水
<input type="checkbox"/> 非常食

貴重品
<input type="checkbox"/> 預金通帳
<input type="checkbox"/> 印鑑
<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> 保険証 | 衣類・衛生用品など
<input type="checkbox"/> 下着・上着
<input type="checkbox"/> タオル・ウェットシート
<input type="checkbox"/> 洗面用具
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ
<input type="checkbox"/> 携帯トイレ | 日用品など
<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
<input type="checkbox"/> 予備電池
<input type="checkbox"/> 紙おむつ
<input type="checkbox"/> 携帯電話
<input type="checkbox"/> 充電器 | 小さな子どもや高齢者の方が居る家庭では
<input type="checkbox"/> 粉ミルク・ほ乳瓶
<input type="checkbox"/> 紙おむつ
<input type="checkbox"/> 離乳食
<input type="checkbox"/> 常備薬
<input type="checkbox"/> 流動食
<input type="checkbox"/> お薬手帳 | ペットの居る家庭では
<input type="checkbox"/> ペットフード
<input type="checkbox"/> ケージ
<input type="checkbox"/> ふん尿の始末用品

女性向け
<input type="checkbox"/> 防犯ブザー、ホイッスル
<input type="checkbox"/> 生理用品
<input type="checkbox"/> ヘアゴム・くし、手鏡 |
|---|--|--|---|--|



～毎月10日は人権を考える日～

「子ども会活動」の紹介

西条市では、現在4つの「解放子ども会」が活動しています。目的は、差別をしない、差別に負けない、差別を許さない子どもを育てることです。指導者は、隣保館や社会教育集会所の館長、近隣の学校の先生、保育士、保護者、育成に携わる方々です。子どもたちは、校区内に広く案内をして募集します。残念ながら、そんなにたくさん子どもたちが毎回集まることはできません。しかし、指導者の方々は、部落差別をなくすという強い意志のもとに活動しています。

子どもたちは、兄弟が活動していたから、先生の勧めで、友達に誘われて、実際に来てみたら楽しかった等々の理由で、参加してくれています。活動する子どもたちの生き生きとした姿を見られることが、指導者にとっては一番の楽しみなのです。

活動内容は、人権学習、草花や野菜の育成、講師の方の指導でものづくり体験、DVDの視聴、絵本の読み聞かせ、現地へ出向いての見学、夏祭り、クリスマス会など多岐にわたります。子どもたちの興味は尽きることがありません。人権感覚・人権意識のある集団づくりも目指しています。様々な活動の中で、子ども同士で協力したり話し合ったりする場面があります。指導者に助けを求めたり、友達の手助けをしたりすることもあります。そういった活動の中で、友達のこと、指導者のことを理解していくのです。この人に聞けばいつでも教えてくれるとか、こういう聞き方をすると優しいとか、こんな言い方をすると不機嫌になるとか、相手のことをより深く知っていくのです。もちろん、トラブルになることもあります。トラブルになることも、大きな学習の機会です。ですから、すぐに指導者が間に入って問題を解決するわけではありません。指導者の立会いのもと、両者の言い分を十分に聞いて、お互いが納得するまで話し合います。そして、どうすることがいいか、考えさせます。

解決策を自分で見つけ出すことがねらいです。これが生きていく力になっていくのではないかと考えています。学校ではなかなか時間が足りなくて、子どもたちに考えさせる時間を確保できない現状があります。

学校外で、様々な活動をしている子どもたちは、その活動を通していろいろなことを学んでいます。その中で、家庭とは違った姿、学校では見せていない姿を見せてくれると思います。そのような姿を、友達にも家族にも見せてほしいと考えています。そして、周りの人たちにその子らしさを認めていただきたいと思うのです。子ども会では、差別に気づく力、差別に気づいたらそれを発信する力、発信されたことを受けとめる力、差別をなくしていこうとする意欲、差別をなくすための力をつけていくことをねらっています。

子ども会に一度参加して子どもが急に変わるなんてことはありません。活動の積み重ねによって、少しずつ少しずつ身につけていってほしいのです。友達の喜びをいっしょに喜べる、友達の悲しみに寄り添える子どもになっていってほしいと願っています。

